

## 《子宮体癌の抗がん剤療法》

### 【子宮内膜癌】

#### 1 AP療法 1サイクル=21日間 6サイクル実施予定

催吐性リスク		高度								
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4	5-21
	アプレピタントカプセル	初日125mg、2、3日目80mg			内服	●	●	●		
	デカドロン錠8mg		内服		●	●	●			
1	パロノセトロン 0.75mg デキサート 9.9mg				点滴(30)	●				
2	㊶ドキシソルピシン 生食 50mL	60 mg/m <sup>2</sup>	必要	不要	点滴(15)	●	×	×	×	×
3	ラクトリンゲル 500mL				点滴(60)	●				
4	硫酸Mg補正液 10mL ラクトリンゲル 500mL				点滴(60)	●				
5	㊨ランダ 生食 500mL	50 mg/m <sup>2</sup>	軽中 不要	必要	点滴(120)	●	×	×	×	×
6	ラクトリンゲル 500mL				点滴(60)	●				
	ラクトリンゲル 500mL				点滴(120)		●	●		
							●	●		

#### 2 DC療法 1サイクル=21日間 3-6サイクル実施予定. 最低3サイクル.

催吐性リスク		中等度(上)								
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4-21	
	アプレピタント	初日125mg、2・3日80mg			内服	●	●	●		
1	グラニセトロン 3mg デキサート 4.95mg		点滴(30)		●					
2	㊶ドセタキセル 生食 250mL	標準 60mg/m <sup>2</sup> 上限 70mg/m <sup>2</sup>	必要	不要	点滴(60)	●	×	×	×	
3	カルボプラチン 5%ブドウ糖 250mL	AUC5(標準)-6(上限) 最大CLcrは125	軽中 不要	Calv ert	点滴(60)	●	×	×	×	
4	5%ブドウ糖 100mL				点滴	●				

#### 3 Monthly TC療法(m TJ) 1サイクル=21日間

催吐性リスク		中等度(上)								
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4-21	
	アプレピタント	初日125mg、2・3日80mg			内服	●	●	●		
1	ファモチジン 20mg デキサート 19.8mg ポラミン 5mg 生食 100mL		点滴(30)		●					
2	グラニセトロン 3mg				点滴(30)	●				
3	㊦㊰㊶パクリタキセル 生食 500mL	175 mg/m <sup>2</sup>	必要	不要	点滴(180)	●	×	×	×	
4	カルボプラチン 5%ブドウ糖 250mL	AUC4-6 最大CLcrは125	軽中 不要	Calv ert	点滴(60)	●	×	×	×	
5	5%ブドウ糖 100mL				点滴	●				

薬品名の印 ㊦ filter ㊨ hydration ㊰ premedication ㊱ route flush ㊳ supportive therapy ㊴ Time control ㊵ washout ㊶ vesicant drug .  
 \* 肝腎機能の項は、指標があるものは「必要」or「不要」、明瞭でないものは「考慮」or「不明」で表記。

4 DP療法 1サイクル=21日間 6サイクル \* TC療法でアレルギーが出た患者に使用

催吐性リスク 高度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4	5-21
	アプレピタント	初日125mg、2・3日80mg			内服	●	●	●		
	デカドロン錠8mg				内服		●	●	●	
1	パロノセトロン 0.75mg デキサート 9.9mg				点滴(30)	●				
2	㊶ドセタキセル 生食 500mL	70 mg/m <sup>2</sup>	必要	不要	点滴(60≤)	●	×	×	×	×
3	硫酸Mg補正液 10mL ラクトリンゲル 500mL				点滴(60)	●				
4	㊨ランダ 生食 500mL	60 mg/m <sup>2</sup>	軽中 不要	必要	点滴(120)	●	×	×	×	×
5	ラクトリンゲル 500mL				点滴(60)	●				
						●				
	ラクトリンゲル 500mL				点滴(120)		●	●		
							●	●		
							●	●		

5 Weekly TC療法(w. TJ) 1サイクル=28日間 6サイクル予定

催吐性リスク 中等度(上)

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-3	4-7	8	9-14	15	16-28
	アプレピタント	初日125mg、2・3日80mg			内服	●	●●					
1	ファモチジン 20mg デキサート8.25mg ポララミン 5mg 生食 100mL				点滴(30)	●						
2	グラニセトロン 3mg				点滴(30)	●						
	ファモチジン 20mg デキサート6.6mg ポララミン 5mg 生食 100mL				点滴(30)				●		●	
	生食 100mL				点滴(30)				●		●	
3	㊦㊰㊶パクリタキセル 生食 250mL	60 mg/m <sup>2</sup>	必要	不要	点滴(60)	●	×	×	●	×	●	×
4	カルボプラチン 5%ブドウ糖 250mL	AUC4-6 最大CLcrは125	軽中 不要	Calv ert	点滴(60)	●	×	×	×	×	×	×
5	5%ブドウ糖 100mL				点滴	●						
	生食 100mL				点滴				●		●	

6 キイトルーダ単剤 1サイクル=21日間

催吐性リスク 最小度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-21
1	生理食塩液100mL				点滴	●	
2	㊦キイトルーダ 生理食塩液100mL	200 mg/body	軽度 不要	不要	点滴(30≤)	●	×
3	生理食塩液100mL				点滴	●	

## 【子宮肉腫(ザルコーマ)の抗がん剤療法】

7 **ドキシソルピシン単剤療法** 1サイクル=21日間 6サイクル実施予定

催吐性リスク 中等度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4-21
1	グラニセトン デキサート9.9mg				点滴(30)	●			
2	㊶ドキシソルピシン 生理食塩液50mL	75 mg/m <sup>2</sup>	必要	不要	点滴(15)	●	×	×	×
3	生理食塩液100mL				点滴	●			
	デカドロン錠8mg				内服		●	●	

8 **ヴオトリエント単剤療法**

催吐性リスク 軽度

薬品名	投与量	肝	腎	経路	
ヴオトリエント	800mg/body	必要	不要	内服(空腹時)	連日

9 **ハラヴェン単剤療法** 1サイクル=21日間

催吐性リスク 軽度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-7	8	9-21
1	デキサート6.6mg 生理食塩液100mL				点滴(30)	●		●	
2	ハラヴェン 生理食塩液100mL	1.4 mg/m <sup>2</sup>	必要	必要	点滴(5)	●	×	●	×
3	生理食塩液100mL				点滴	●		●	